

(財)日本ユニセフ協会佐賀県支部通信 第2号 2004年8月

事務所：〒840-0054 佐賀市水ヶ江4丁目2-2 TEL/FAX 0952-28-2077

e-mail unicef-saga@ams.odn.ne.jp

URL <http://www2.odn.jp/unicef-saga/>



残暑お見舞い申し上げます。

残暑お見舞い申し上げます。昨年の冷夏とはうって変わって、今年の夏は猛暑、竜巻、そして局地的な大雨と大変不安定な天候でしたが、皆様におかれましてはお元気でお過ごしのことと存じます。日ごろからユニセフへのご支援ご協力ありがとうございます。

さて、アテネオリンピックの開会式では202の国や地域から参加した選手団の晴れやかな笑顔が印象的でした。いまだ戦火のやまないイラクや、様々な困難を抱えている国や地域から参加した選手の皆さんの胸にはどのような思いがよぎったことでしょうか。

ユニセフが訴えていること



オリンピック聖火が、ニューヨーク国連本部に運ばれてきました。ユニセフの手配により、リベリア紛争を逃れたジョーンズさんからダニエル君へ聖火が渡されました。
© Evan Schneider/UN

オリンピック休戦

2004年8月11日 ニューヨーク

ユニセフは全ての国の政府に対して五輪休戦「オリンピックゲームの開催期間中とその前後で、世界で起こっている紛争を直ちに止めること」を呼びかけています。昨年、国連総会はアテネの五輪休戦を満場一致で採択し、約190にのぼる加盟国が平和を願う心をひとつにしました。

ユニセフ事務局長のキャロル・ベラミーは訴えます。「多くの国々で、子どもたちは紛争に巻き込まれないように必死で生き延びようとしています。子どもは戦いの無い世界で、人間としての尊厳を持ち、健康に育つ権利を持っています。しかし、それを実現できるか否かは、大人にかかっているのです。五輪休戦が実現すれば、平和は我々の手中にあるということを世界に示す絶好の機会となるでしょう。」
〔資料提供：日本ユニセフ協会〕



©UNICEF

少年兵の戦闘禁止 日本が批准書寄託 2004年8月4日ニューヨーク/東京

日本政府は8月2日、18歳未満の少年兵の戦闘参加を禁じること等を定めた「児童の権利に関する条約の選択議定書」の批准を、国連アナン事務総長に寄託しました。同選択議定書は、武力紛争への関与から年少者を保護する目的で、2000年に国連総会で選択され、一昨年に発効しました。

現在の締結国は74カ国です。

〔資料提供：日本ユニセフ協会〕

「児童買春・児童ポルノ等禁止法」改正法の成立

「児童買春・児童ポルノに係る行為等の処罰及び児童の保護等に関する法律」の一部を改正する法律（一〇六）が公布、施行されました。（発効：平成16年7月8日）

背景

1996年、ストックホルムで開催された児童の商業的性的搾取に反対する世界会議において、日本が東南アジアにおける子ども買春の加害者、及び子どもポルノの生産地として国際社会からの強い非難をあげ、代表団に大きなショックを与えました。その直後、日本ユニセフ協会・駐日スウェーデン大使館の共催で実施された、1997年のフォローアップ会議を契機として、児童買春・児童ポルノに係る行為等の処罰及び児童の保護等に関する法律案作成作業が始まりました。

日本ユニセフ協会は1998年4月より、その法律案の早期成立への全国的署名活動を開始し、約4万人の方々の協力を得て国会へ請願書を提出しました。そして遂に、1999年に議員立法により「児童買春、児童ポルノに係る行為等の処罰及び児童の保護等に関する法律」（以下、児ポ法）が制定されました。（同法附則においては、施行後3年を目途として、検討が加えられ、その結果に基づいて必要な措置が講ぜられるものと規定されていました。）

日本ユニセフ協会では、児ポ法発効後3年間の経過から、改正案では罰則の強化とインターネット上の児童ポルノの取締り強化を要請してきました。

児童の権利の擁護に関する取り組みが世界で進展していくなか、2002年に行われた国連子ども特別総会で、日本政府は「子どもの権利条約」の選択議定書の一つである「子どもの売買、子ども買春及び子どもポルノに関する児童の権利に関する条約の選択議定書」に署名をしました。

日本ユニセフ協会は、子どもの人身売買に関する国内法（児童福祉法）の改正案と、子どもポルノに関する国内法（児ポ法）の改正案が159回国会会期中に成立するように5万人以上の署名を集め、請願書を提出しました。

159回国会（2004年）の成果

子どもの人身売買に関する国内法整備である「児童福祉法改正」については3月31日に国会へ提出されましたが審議に至らず、国会は閉会しました。子どもポルノに関する国内法の整備である「児童買春、児童ポルノに係る行為等の処罰及び児童の保護等に関する法律」を改正する法律案は日本ユニセフ協会の要請事項、及び選択議定書批准のための一部追加を含め、159回国会で成立し、2004年6月18日付で公布、7月8日に施行されました。この改正が実現したのも、署名にご参加くださいました皆様のご支援、その他ご関係者のお力添えの賜物と存じます。厚くお礼を申し上げます。

〔資料提供：日本ユニセフ協会〕

かつどうほうこく

- 5月30日(土) 鹿島ガタリンピック会場にてパネル展「子どもとの約束」
ユニセフグッズの頒布、募金活動(鹿島市七浦海浜公園)
- 5月30日(土) イオンイエローレシート1%還付募金贈呈式(大和町イオン九州ジャスコ佐賀大和店)
- 5月31日(月) コープさが募金贈呈式(佐賀市文化会館)
- 6月7日(月) ユニセフ佐賀友の会 2003年度会計監査(佐賀市事務所)
- 6月27日(日) 第2回理事会(佐賀市佐賀新聞社)
第1回先生のためのユニセフ学習会(佐賀新聞社)
- 7月7日(水) コープさが「平和を考える市民の集い」にてユニセフグッズの頒布
(佐賀市アバンセ)
- 7月26日(月) コープさが「平和のつどい2004」にてパネル展「紛争下の子どもの権利」
ユニセフグッズ頒布、募金活動(佐賀市佐賀市民会館)
- 8月5日(木)~6日(金)ユニセフ協会地域組織学習担当者研修会(三重県菰野町勤労福祉センター)
- 8月6日(金) 嘉瀬小学校平和集会(1~6年)ユニセフ出前教室「平和ってどんなこと?」
(佐賀市嘉瀬小学校)
- 8月28日(土)「夏休み企画:ボランティアの世界を探検しよう!!」にてゲーム&ワークショップ
(佐賀市iスクエアビル)

6月27日(日) **先生のためのユニセフ学習会**(佐賀市佐賀新聞社)

* 第1回目の「先生のためのユニセフ学習会」を開催しました。(参加者41名)

ブルカの内側からは
どう見える?



ワークショップ
「平和でない世界と子どもの権利」



グループごとに気付きや見えてきた
ことを発表しての学びあい



体験コーナー アフガニスタンの
女性が着るブルカを着てみよう...

ワークショップ「平和でない世界と子どもの権利」

アンケートの結果 アンケートには78%の方に回答していただきました。

学習会の内容はいかがでしたか？

1. よかった 100% 2. どちらともいえない 0 3. よくなかった 0

どんな点が (一部をご紹介します。)

- * 権利条約について自分なりに理解を深めることができました。グループの方々とのコミュニケーションも楽しくとることができました。
- * 薄井さんのお話とても聞きやすく、またユニセフに興味をわいて学校現場で子どもを守る活動そして、子どもにユニセフを伝える活動を続けていきたいと思えます。グローバルな視点で考え地球は一つ、愛を全ての人々にといい温かい気持ちになりました。ポジティブにやっていきたいです。
- * これまでユニセフの会に参加させてもらいながらも、今回子どもの権利条約を始めて読みました。そして、現実社会(大人の)がいかに子どもの権利を踏みにじっているかを再認識しました。
- * 自分の考えていることだけではなく、皆の意見を聞くことで新しい考え方をしたり、視点を変えて考えることができたりしたところ。今まで同年代の子とばかり参加型をしていたので大人の方の意見を聞いてよかった。
- * 日常生活とかけ離れたところに「平和でない世界」があると思っていたが、ワークショップを進めるうちに身近なところにも存在することに気づきました。自分自身が連想した言葉によって新たな発見・気づきがあるのが嬉しかったです。
- * 難しくなくユニセフの活動や世界の子供たちがおかれている状況について知り、大人が何をしなければならぬかを気づかせていただきました。子どもの権利条約についてももっと学習したいと思いました。

今後もこのような学習会の開催を希望されますか？

1. する 92% 2. しない 0 3. 無記入 8%

学習会全般についてのご感想・ご意見をお聞かせください。(一部をご紹介します。)

- * 活発な意見交換を聞くことができとても勉強になりました。短い時間内で分かりやすい説明をしていただきありがとうございました。イラクの子どもたちは今現在死と直面して生活しているのをテレビのニュースを見て心が痛みます。
- * 分かりやすい話し方進行でよかったと思えます。水がめや地雷の展示物も改めて考えさせられるものでした。
- * 初めての参加で最初とまどいでしたが、ワークショップの中での触れ合いがほっとするものがあり、楽しい時間となりました。知らないことばかりでしたがユニセフ活動に対して意識が変わりました。
- * 嬉しかったです。いつも学校の授業だと退屈だけど、自分の知識でも十分参加できたし、色々な人の意見を聞くことができてうれしかったです。
- * ともすると自分の身の回りの現実にしか目が向かなかったが、これからはもっと広い視野に立ち世界の中の一人として自分にできることをしていきたい。

- * 初めて参加させていただきありがとうございました。一方的にお話を聞かせて頂くだけかと思っていましたが、皆さんとの話し合いを気軽にさせていただくことができ大変有意義な時間を過ごさせていただきました。尊い生命が尊いままに生きられる世界が訪れるように少しでもお手伝いさせていただきたいと思います。
- * 「学習会 = 話を聞いて知識を得る」と思っていましたが、今回のようなワークショップはとても楽しく有意義でした。同じテーブルの方々とも親しく声かけあえてよかったです。このような会なら次回が楽しみです。
- * 明るく楽しい雰囲気の中で学習会が進んでいったのでよかったと思います。学校現場での実践が具体的に分かるような形で紹介していただけたら幸いです。

佐賀市立嘉瀬小学校平和集会 8月6日(金)



嘉瀬小学校の1年生から6年生までのみなさんは、猛暑にもめげず「平和ってどんなこと?」という課題のもと、平和の尊さについて学習しました。どの学年もみんな大変聞き方が上手でした。子どもたちの真剣な表情が印象的でした。

学校から子どもたちの感想を寄せていただきました。みんな紹介したいのですが紙面の都合でほんの一部しか載せられないのが残念です。子どもたちの声をお聞きください。

平和集会で、感じたことや思ったこと

* 1年

かなしいです。なぜかという、こどもがしんでいくからです。あれがぼくだったらこわかったです。イラクにすんでいたらかなり「あぶない」とおもいました。

* 1年

がっこうに、こどもたちがいられないからさみしそうでした。ぼくがイラクにいたらがっこうにいられないからさみしい。イラクはせんそうがいっぱいあるからです。

* 2年

わたしがーばん心にのこっているのは、へいしたちが町を見にきているところでした。そして、いきなり、「学校を見せてください」といってきました。わたしはそんなことが、このかせ小学校にこないといいなあと思いました。

* 3年

日本は平和です。でもイラクのみんなはいっぱいぎせいにされている人がいます。イラクのみんなは、いつもいつもかなしい気持ちだったと思います。早く戦争が終わるといいですね。だって、日本のよう

になっていないから。この世界やこの地球全体が平和でいられるようになればいっしょなかよしでいられることでしょう。なぜ、国がわかれているのかな。

* 4年

ぼくは、平和集会で自由・不自由があると思いました。外国人は本当にかわいそうです。ぼくは、戦争をゆるしません。地球上で楽しく、自由に、平和に生きていきたいです。人を殺すなど信じられないことです。今のぼくの気持ちは「生きていることは、すばらしいことだなあ」です。これからも人を大事にしていきたいです。

* 5年

今日の平和集会でユニセフの人たちの話を聞いて、日本は今平和で幸せなんだなあと思い感謝しました。イラクなどでは戦争がまだあって次々にぎせいの人たちが出ていて、日本は約60年もの間も戦争がなく平和なので、そのことにすごくありがたく思いました。今、願っていること。日本がずっと平和で戦争がありませんように。

* 6年

今、私たちは自分たちの明日なんて考えたことがなく、今日も明日も何不自由なくくらしています。でも、みんながみんなそうじゃないということが分かりました。イラクの人々は明日の自分はどうなっているのだろう、どんなおそろしいことが起こるのだろうと心配で心配でたまらないと思います。こんなイラクの人々が一日でも、一時間でも、一分でも早く、楽しいという考えを持てるようになって、イラクの町が平和になってほしいと私は思います。